



2020年3月期 第3四半期 決算説明会資料

2020年2月18日

日工株式会社

証券コード 6306

常務取締役 財務本部長 藤井 博

海外連結子会社 連結方法変更	▶ P.3
情報開示	▶ P.4
トピックス	▶ P.5
2020年3月期第3四半期事業環境と実績	▶ P.6-19
参考資料	▶ P.20-24

連結子会社のうち決算日が12月31日である海外子会社2社（日工（上海）工程機械有限公司 他1社）については同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については必要な調整を行っていました。

より適切な経営情報の把握、及び四半期連結財務諸表の開示を行うために当第1四半期連結会計期間より、連結決算日である3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。

この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間は、2019年1月1日から12月31日までの12ヶ月間を連結しております。

海外子会社の決算時期変更に対する影響は

- ・ 受注高 : +417百万円
- ・ 売上高 : +1,438百万円
- ・ 営業利益 : +50百万円

になります。

★日工上海の実質ベース

前年同期（1-12月）比

受注高+752百万円、売上高+258百万円、営業利益+126百万円

● 情報開示

- ✓ 投資家や株主を含む全てのステークホルダーの皆様に向けて「日エグループ統合レポート2019」を日英で作成
- 2020年は、よりESG視点での統合レポートへ拡充予定

Contents

企業理念	01
編集方針・目次	02

ビジネスモデル&イノベーション

CEOメッセージ	03
創業から1世紀の歩み	07
価値創造プロセス	09
アスファルトプラント関連事業	11
コンクリートプラント関連事業	13
環境・搬送関連事業	15
新中期経営計画	17
Point 1 モバイルプラント事業	20
Point 2 海外AP事業	21
Point 3 メンテナンス・サービス事業	23
CFOメッセージ	25

サステナビリティへの取り組み

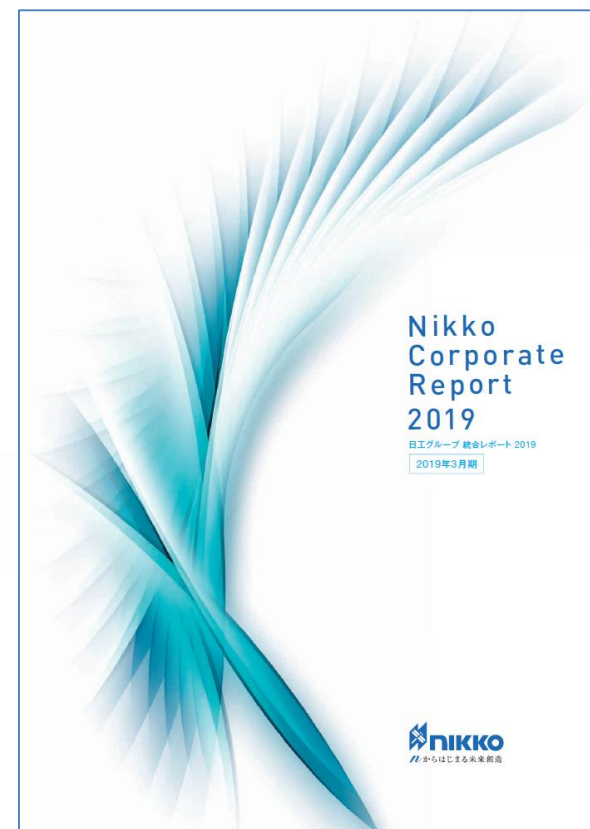
サステナビリティへの取り組み	27
顧客満足を支える研究開発体制	28
顧客満足の追求	29
従業員満足の追求	31
事業活動と環境経営	33

リーダーシップ&ガバナンス

ガバナンス(取締役会議長&社外取締役)座談会	35
役員紹介	39
役員略歴一覧	41
コーポレートガバナンスの体制	42

財務・非財務ハイライト

2018年度事業概況と2019年度の見通し	43
過去10年間の財務指標推移	45
非財務指標	47
株式情報・株価推移	48
会社概要と拠点一覧	49
子会社要覧	50



<https://www.nikko-net.co.jp/ir/>
 英語版 <https://www.nikko-net.co.jp/en/news/>

新会社設立

Nikko Asia(Thailand)Co.,Ltd

設立 2020年2月25日（予定）

安定的且つスピーディなメンテナンス・部品供給と、密なコミュニケーションを求めるタイ市場のニーズに応えることで、競争優位性の高い、新品・中古・プラントリニューアル事業の販売を拡大する

5つの事業方針		事業概要・狙い		顧客ニーズの充足		競争優位性		
既存	新品プラント 販売の拡大	機会損失の改善、商談勝率の改善を図り、新品プラント販売を拡大。高品質・安定稼働で認知されている中規模クラスの顧客をターゲットに、 継続的な収益基盤の中核 。		• 高品質で運用がしやすい • 長期安定稼働		• 品質（安定稼働） • ランニングコスト抑制 • 運用のしやすさ • 信頼性		
	中古品プラント 事業の立ち上げ	市場の半分を占める日工製中古品の商流を押さえ （国内も含む）、新品販売とのカニバリを防ぐことで、新品販売の勝率向上も狙う。		• 低価格、イニシャルコスト抑制（2,3年で損益分岐点を超えること） • すぐに運用開始、安定運用		• メーカー保証の中古品 • 現地在庫保持、迅速に提供 • 仕入先となる日工既存顧客ネットワーク		
新規	プラントリニューアル 事業の立ち上げ	システム販売を含む中古プラントの入れ替え提案。 初期投資を抑えて新たな収益基盤 の獲得。 市場情報獲得・将来のプラント販売候補を囲い込み 、中長期的な事業拡大への足掛かりを狙う。		• プラント購入の投資抑制 • 長期利用しているプラントのパーツ交換やオーバーホールで投資を抑えて継続利用		• 顧客ニーズに合わせ提案 • メーカーによる入替で高品質、低いランニングコストを実現		
	部品販売 事業の拡大	現時点で顕在化しており将来的にもニーズがあると想定される部品供給 を担い、新たな収益源を確保と 製品販売の機会獲得 を狙う。		• 大手 部品調達スピード • 中小 調達のしやすさ		• 正規品パーツとしての品質 • メーカーでなければ提供できない基幹部品まで取り扱い		
	メンテナンス 事業の立ち上げ	競合他社に追従し、メンテナンス事業に参入することで、 製品販売の機会損失・商談ロスの低減 を狙う。		• ソリューションの提示 • 稼働状況の定期フォロー • 信頼できる相談相手		• メーカーによる的確な診断・提案能力 • 日本市場で培ったノウハウ		
収益計画	項目	FY19	(参考)	FY20	FY21	FY22	FY23	FY24
	売上高	300		620	953	1,398	1,549	1,704
	新品販売	300		400	600	800	900	1,000
	中古販売	-		43	85	170	170	170
	リニューアル	-		145	166	250	271	292
	メンテナンス・部品	-		33	102	178	208	242
	営業利益	-		▲76	29	101	129	157

2020年3月期 第3四半期事業環境と 実績

2020年3月期 3Q実績

（単位：百万円）

3Q（4-12月）	実績	対前年同期	対前年同期増減率
売上高	24,562	+4,143	+20.3%
営業利益	1,040	+733	+238.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	970	+407	+72.5%

- ▶ AP事業：国内の製品売上高は、前年同期比増。メンテナンスは前年同期比減
海外は、輸出増、日工上海の売上高増（決算時期変更要因+a）
結果、売上高は前年同期比増
- ▶ BP事業：国内の製品売上高は、前年同期比増。メンテナンスは前年同期並
- ▶ 受注高は、前年同期比増

事業環境

AP事業

3Q（4-12月）	実績（万トン）	対前年同期比
合材製造量	2,824	99.3%
新規合材	742	107.7%
再生合材	2,081	96.6%

再生合材比率	73.7%
--------	-------

資料出所：（一社）日本アスファルト合材協会

BP事業

3Q（4-12月）	実績（万m ³ ）	対前年同期比
生コンクリート出荷量	6,293	96.2%

資料出所：全国生コンクリート工業組合連合会・全国生コンクリート協同組合連合会

2019年度 業績ハイライト (1)

(単位：百万円)

	2018年度		2019年度					
	3Q実績	3Q (累計) 実績	3Q実績	対前年同期比	3Q(累計) 実績	対前年同期比	通期進捗率	通期予想
売上高	5,721	20,418	7,422	+1,701 +29.7%	24,562	+4,143 +20.3%	68.8%	35,700
営業利益	▲ 167	307	81	+248 -	1,040	+733 +238.0%	45.2%	2,300
営業利益率	▲ 2.9%	1.5%	1.1%	-	4.2%	-	-	6.4%
経常利益	▲ 142	453	129	+271 -	1,163	+709 +156.5%	46.5%	2,500
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲ 2	562	▲ 33	▲ 31 -	970	+408 +72.5%	48.5%	2,000
受注高	5,796	19,650	7,034	+1,238 +21.3%	23,877	+4,227 +21.5%	63.8%	37,450
受注残高	-	9,364	-	-	12,769	+3,405 +36.3%	-	15,205

(単位：円)

為替レート (EUR)	-	130.56	-	-	122.16	▲ 8.40	-	121.18
為替レート (RMB)	-	16.76	-	-	15.82	▲ 0.94	-	15.66

- ▶ 国内AP事業：売上前年同期比 ▲127百万円
- ▶ 国内BP事業：売上前年同期比 +796百万円
- ▶ 海外売上高：輸出、前年同期比+288百万円。日工上海売上高、前年12ヶ月比+258百万円
- ▶ 日工上海の決算時期の変更による売上高影響額：+1,438百万円

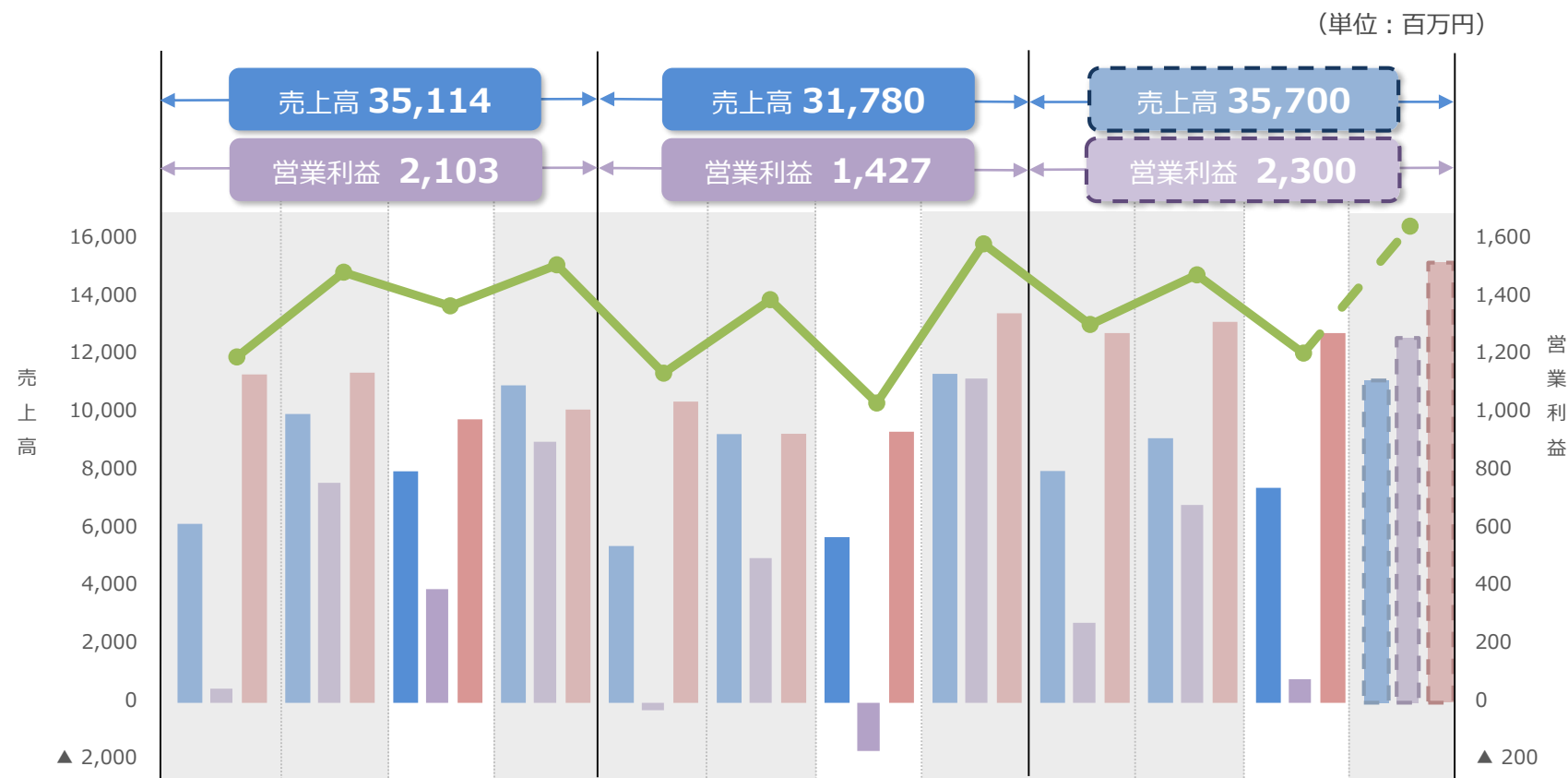
2019年度 業績ハイライト (2)

(単位：百万円)

		2018年度		2019年度					
		3Q実績	3Q(累計)実績	3Q実績	対前年同期比	3Q(累計)実績	対前年同期比	通期進捗率	通期予想
AP関連事業	売上高	2,460	10,293	3,789	+1,329 +54.0%	12,456	+2,163 +21.0%	68%	18,367
	営業利益	▲ 132	283	▲ 53	— ▲ 59.8%	623	+340 +120.1%	42%	1,476
	営業利益率	▲ 5.4%	2.7%	▲ 1.4%	—	5.0%	—	—	8.0%
BP関連事業	売上高	1,612	5,482	1,722	+110 +6.8%	6,291	+809 +14.8%	67%	9,369
	営業利益	23	381	89	+66 +287.0%	386	+5 +1.3%	55%	697
	営業利益率	1.4%	7.0%	5.2%	—	6.1%	—	—	7.4%
環境及び搬送 関連事業	売上高	601	1,699	561	▲ 40 ▲ 6.7%	1,914	+215 +12.7%	68%	2,803
	営業利益	146	254	174	+28 +19.2%	393	+139 +54.7%	82%	479
	営業利益率	24.3%	14.9%	31.0%	—	20.5%	—	—	17.1%
その他事業	売上高	1,048	2,942	1,350	+302 +28.8%	3,899	+957 +32.5%	76%	5,159
	営業利益	115	208	196	+81 +70.4%	644	+436 +209.6%	68%	948
	営業利益率	11.0%	7.1%	14.5%	—	16.5%	—	—	18.4%
全社費用		▲ 318	▲ 820	▲ 322	+4	▲ 1,005	+185	77%	▲ 1,303

- ▶ AP関連事業 : 国内売上高は、製品が増加、メンテナンス事業が減少し、前年同期比▲1.5%減
海外売上高は、輸出の増加と日工上海の売上高増及び決算時期の変更により前年同期比125.4%増
事業全体売上高は、21.0%増
- ▶ BP関連事業 : 売上高は製品が増加、メンテナンス前年並となり前年同期比14.8%増
- ▶ 環境及び搬送関連事業 : 売上高は環境製品、搬送ともに増加し、前年同期比12.7%増
- ▶ その他事業 : 仮設機材・破碎機・防水板の売上高増加し、前年同期比+32.5%増

四半期別売上高・営業利益推移



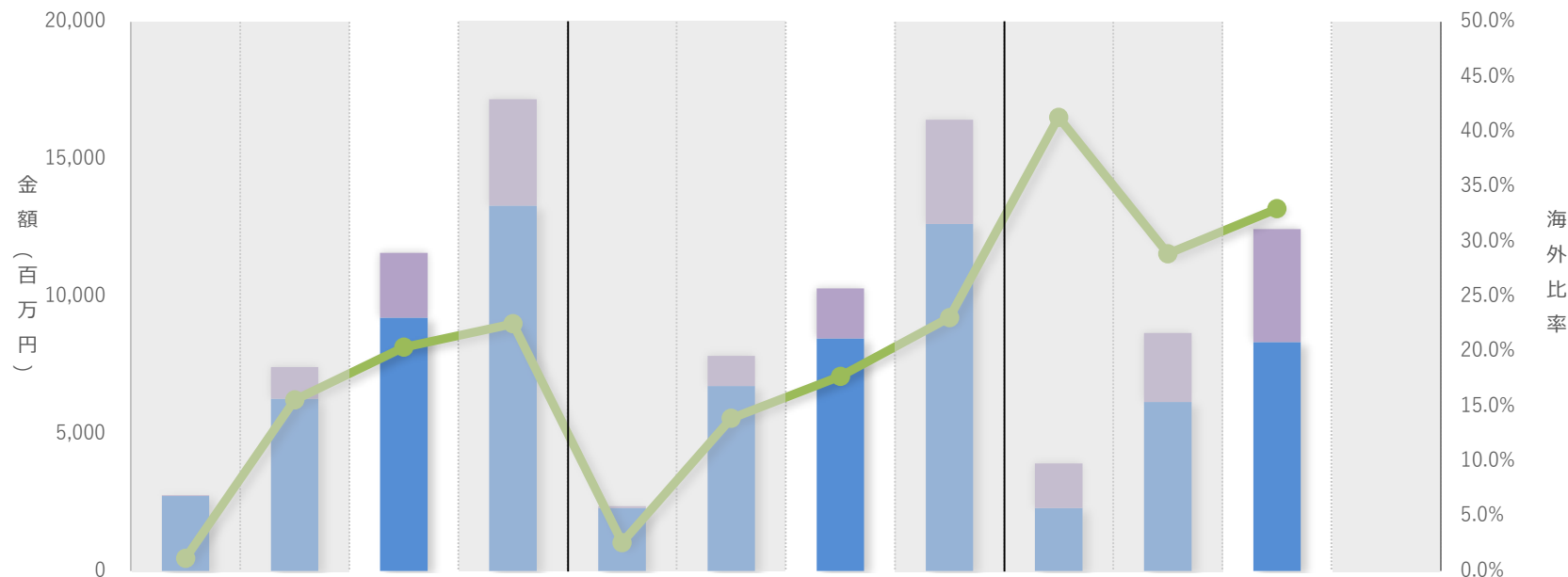
	2017年度				2018年度				2019年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q予想
売上高	6,179	9,974	7,991	10,968	5,415	9,282	5,721	11,362	8,001	9,138	7,422	11,138
営業利益	48	760	392	902	▲26	500	▲167	1,120	276	683	81	1,260
営業利益率	0.8%	7.6%	4.9%	8.2%	▲0.5%	5.4%	▲2.9%	9.9%	3.4%	7.5%	1.1%	11.3%
受注残高	11,346	11,408	9,793	10,132	10,409	9,289	9,364	13,454	12,773	13,158	12,769	15,205

※各期の数字は累計



- ▶ 受注高 : 国内の受注高は前年同期+1,541百万円、日工上海受注高は前年12ヶ月比+752百万円
日工上海の決算時期の変更による影響額+417百万円
- ▶ 売上高 : 国内プラント製品は前年同期比増。メンテナンスは前年同期比減
日工上海の売上増前年同12月比+258百万円。日工上海の決算時期変更による影響額 +1,438百万円
輸出は+288百万円増。
- ▶ 営業利益 : 日工上海の決算時期の変更による影響額 +50百万円

※各期の数字は累計



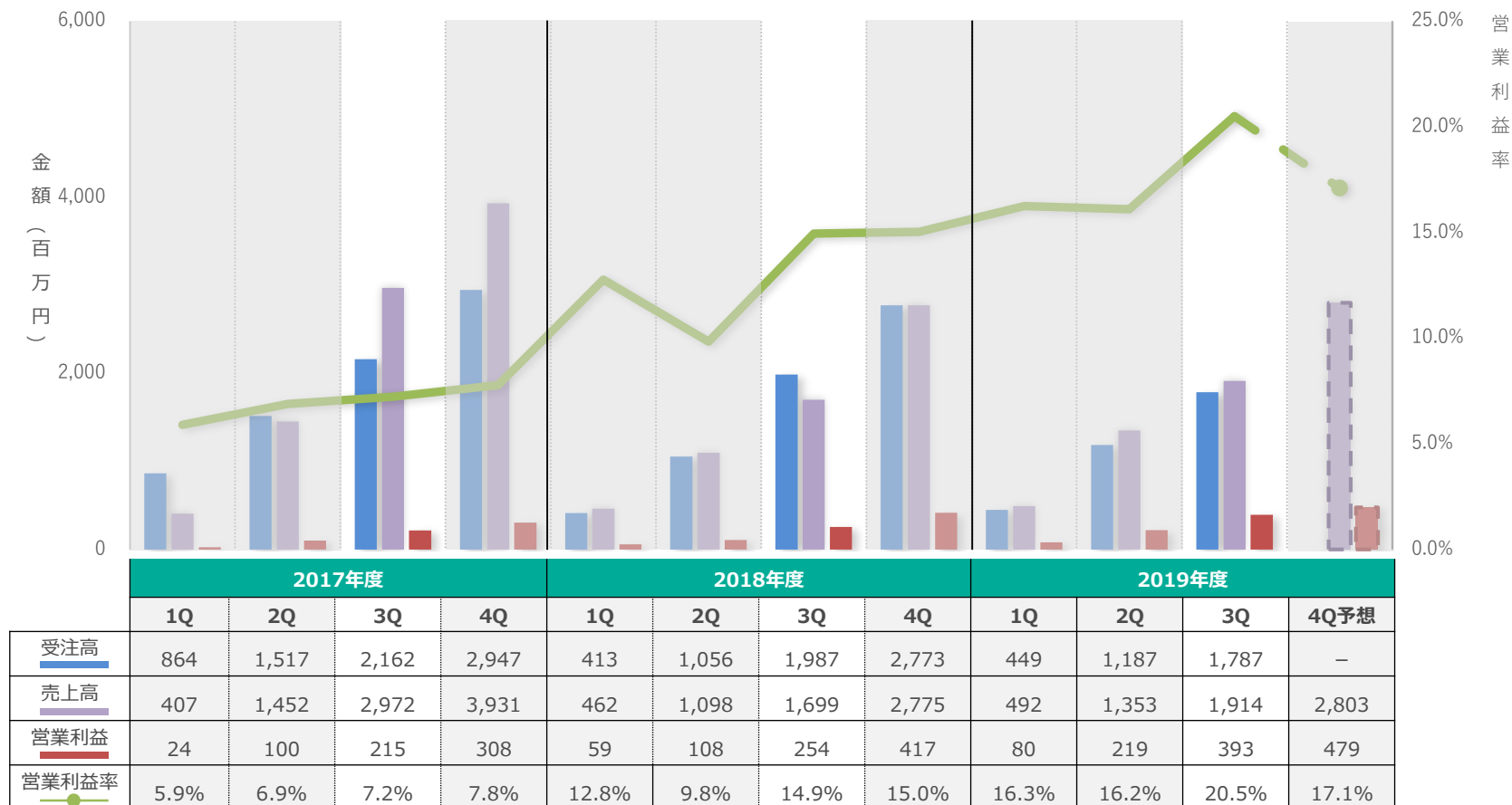
- ▶ 国内 : プラント製品は前年同期比増（+15.7%）。メンテナンスは前年同期比減（▲9.4%）
- ▶ 海外 : ロシア向け1台 タイ向け2台 台湾向けバーナー売上あり前年同期比増。
- ▶ 日工上海 : 前年12ヶ月間比売上+258百万円。

※各期の数字は累計



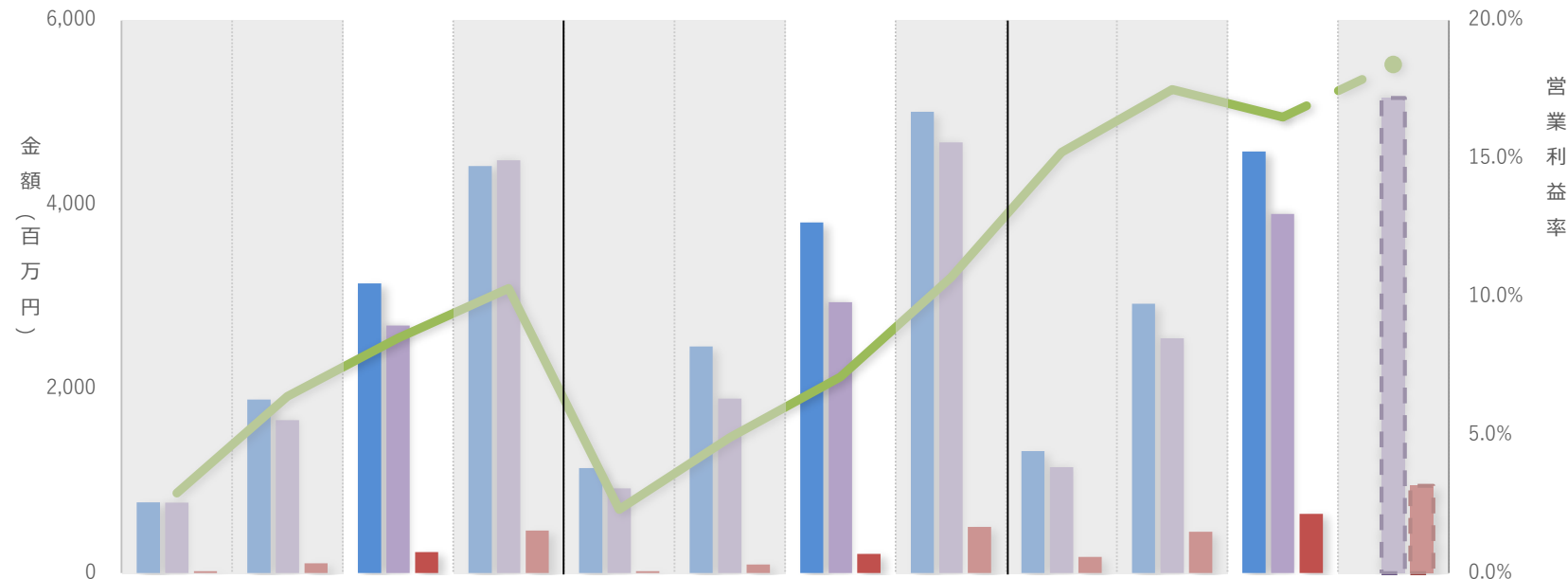
- ▶ 受注高 : 前年同期比増 (+10.4%)
- ▶ 売上高 : プラント製品は前年同期比増 (+31.9%)。メンテナンスは前年同期並 (+0.1%)
- ▶ 営業利益 : 前年同期並

※各期の数字は累計



- ▶ 受注高 : 環境大型案件受注無く、前年同期比減 (▲10.0%)
- ▶ 売上高 : 搬送製品の値上げ、付属品追加効果により対前年比増 (+12.6%)
- ▶ 営業利益 : 搬送製品の売上増に伴い増加 (+54.7%)

※各期の数字は累計



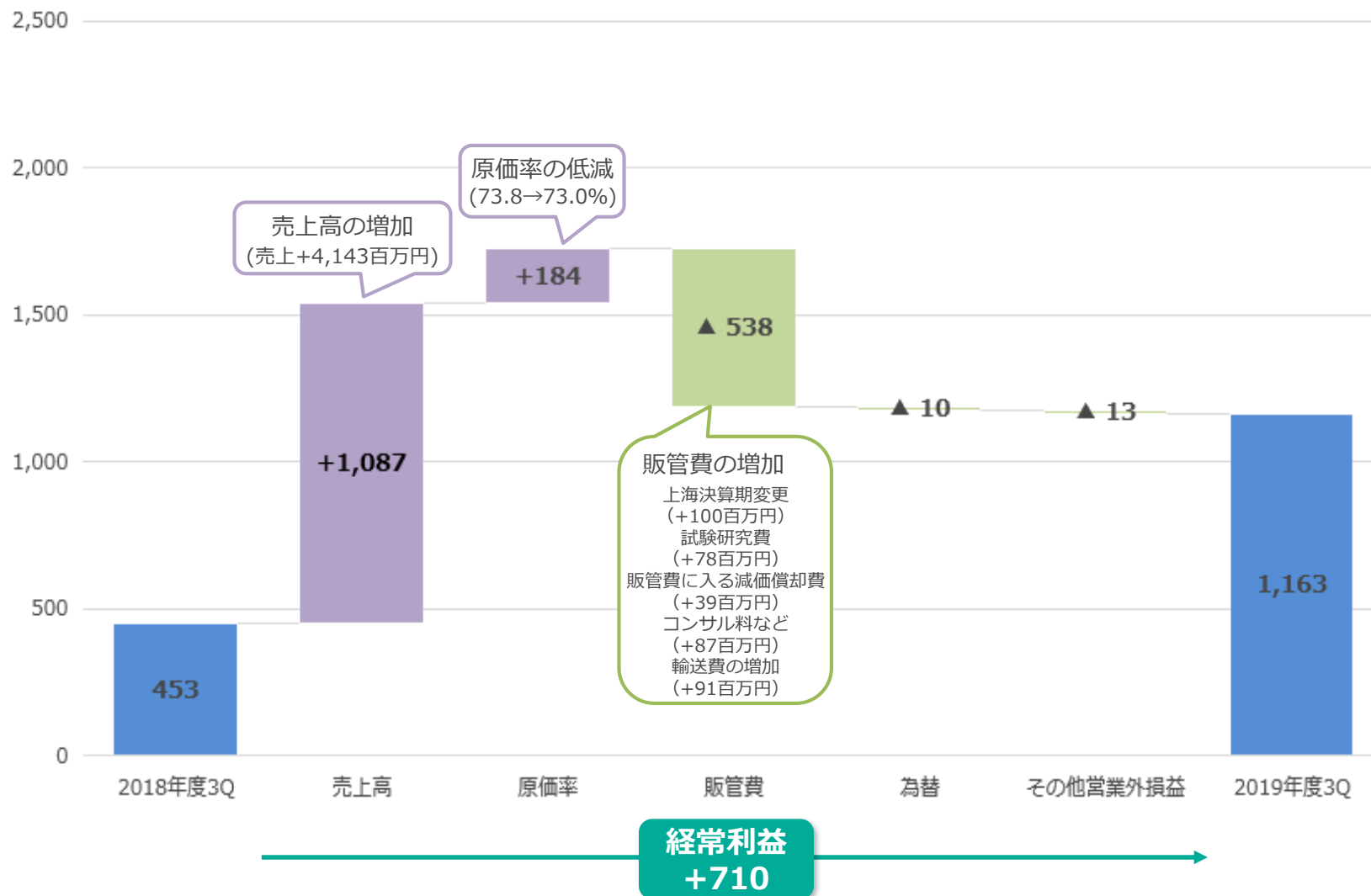
	2017年度				2018年度				2019年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q予想
受注高	768	1,886	3,144	4,420	1,140	2,461	3,805	5,007	1,325	2,923	4,578	—
売上高	766	1,660	2,687	4,480	921	1,894	2,942	4,677	1,149	2,549	3,899	5,159
営業利益	22	107	228	462	21	93	208	502	175	448	644	948
営業利益率	2.9%	6.4%	8.5%	10.3%	2.3%	4.9%	7.1%	10.7%	15.2%	17.6%	16.5%	18.4%

- ▶ 受注高 : 防水板の受注が前年同期比+58%増
- ▶ 売上高 : 仮設機材 (+5.9%)、破砕機 (+18.2%)、防水板 (+351.9%) 増により前年同期比増
- ▶ 営業利益 : 利益率の高い破砕機、防水板の増により前年同期比増

★その他事業の構成 (仮設機材 30%、防水板・水門 21.4%、日工開発製品 15.3%、土農工具 12.4%、破砕機 9.5%、他 11.4%)

2019年度3Q 経常利益 増減要因分析

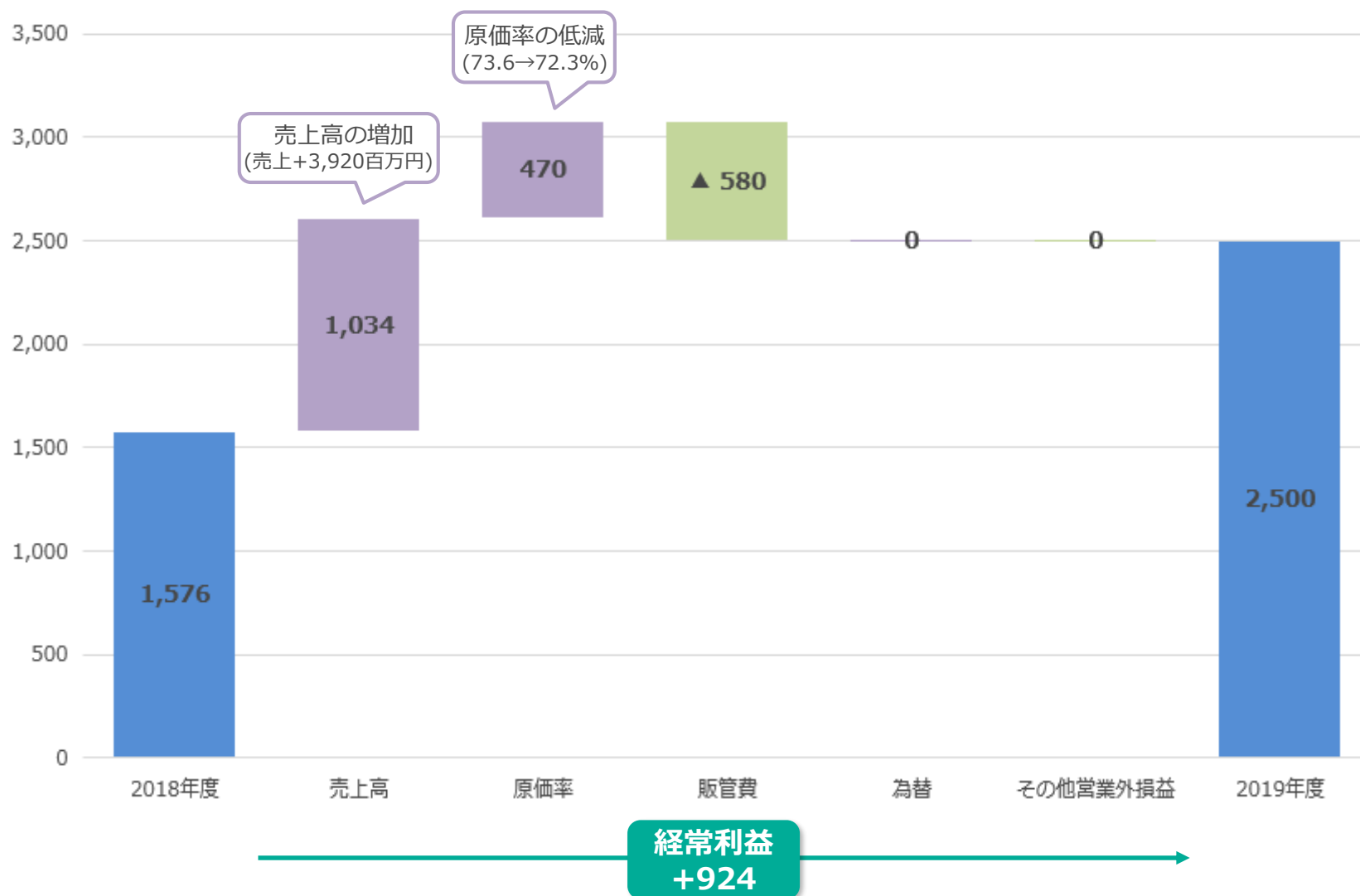
(単位：百万円)



2019年度通期 経常利益 増減要因分析（予想）

通期予想変更なし

（単位：百万円）



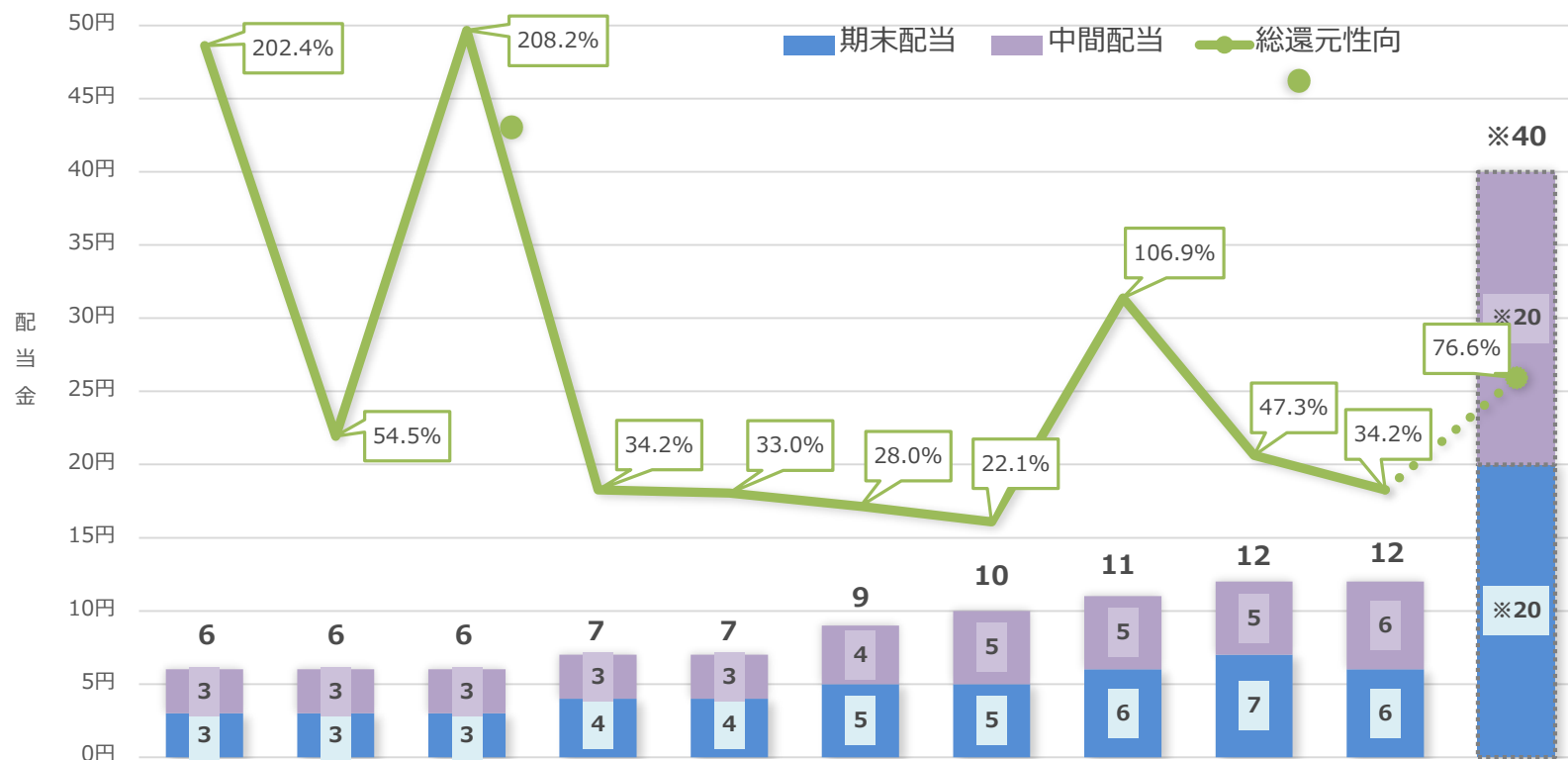
(単位：百万円)

		2018年度3Q	2019年度3Q	増減	増減の主な要因
資産	流動資産	28,897	29,616	+719	増加：現金及び預金 +1,733百万円 受取手形及び売掛金 +813百万円 製品及び商品 +179百万円 原材料及び貯蔵品 +124百万円 減少：電子記録債権 ▲824百万円 仕掛品 ▲853百万円 未収入金 ▲374百万円
	有形固定資産	6,496	7,214	+718	増加：建物及び構築物 +339百万円 土地 +111百万円 建設仮勘定 +160百万円 繰延税金資産 +141百万円 減少：投資有価証券 ▲489百万円
	無形固定資産	365	387	+67	
	投資その他	7,622	7,214	▲ 1,565	
総資産合計		43,382	44,433	+1,051	

負債	流動負債	10,822	11,125	+303	増加：支払手形及び買掛金 +187百万円 電子記録債務 +382百万円 ファクタリング未払金 +583百万円 減少：未払金 ▲141百万円 前受金 ▲723百万円
	固定負債	2,928	2,920	▲ 8	
純資産合計		29,631	30,387	+330	増加：資本剰余金 +109百万円 利益剰余金 +747百万円 減少：その他有価証券評価差額金 ▲179百万円 為替換算調整勘定 ▲110百万円 自己株式 ▲156百万円
1株当たり純資産 (円 銭)		773.30	783.75	+10.45	

※当社は、2019年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております。

1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております



(単位：百万円)

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019年度 予想
自社株買い	1	1	4	9	1	2	1	1,006	246	—	—
自社株消却	0	0	0	0	0	0	0	0	752	—	—

※2019年度の配当予想には、中間配当10円、期末配当10円の年間20円の100周年記念配当を含みます

★2019年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しており、分割後の配当金額に統一して記載しています

参考資料

(単位：百万円)

	17年度				18年度				19年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	6,179	9,974	7,992	10,969	5,415	9,282	5,721	11,362	8,001	9,139	7,422
AP関連事業	2,768	4,664	4,155	5,592	2,361	5,472	2,460	6,140	3,917	4,750	3,789
BP関連事業	2,236	3,370	1,291	2,624	1,671	2,199	1,612	2,410	2,442	2,127	1,722
環境及び搬送関連事業	407	1,046	1,519	959	462	636	601	1,075	492	861	561
その他事業	766	894	1,027	1,793	921	973	1,048	1,734	1,149	1,400	1,350
営業利益	48	760	393	902	▲ 26	500	▲ 167	1,120	276	683	81
AP関連事業	100	350	318	580	42	373	▲ 132	680	222	454	▲ 53
BP関連事業	145	524	68	278	66	292	23	285	110	187	89
環境及び搬送関連事業	24	77	115	92	59	49	146	163	80	139	174
その他事業	22	85	121	234	21	72	115	294	175	273	196
全社費用	▲ 244	▲ 275	▲ 231	▲ 281	▲ 216	▲ 286	▲ 318	▲ 302	▲ 313	▲ 370	▲ 322
経常利益	161	764	431	883	87	508	▲ 142	1,123	361	673	129
親会社株主に帰属する当期純利益	182	561	308	439	130	434	▲ 2	783	270	733	▲ 33

営業CF	274				▲ 218				—		
投資CF	41				▲ 1,021				—		
配当金総額	232	—	191	—	267	—	229	—	229	—	775
自社株取得額	245				0				0		

事業別受注高と受注残高の推移（累計ベース）

（単位：百万円）

受注高（累計）	17年度				18年度				19年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
AP関連事業	2,803	8,254	10,572	17,182	2,787	6,501	8,137	18,884	3,575	8,419	11,196
BP関連事業	1,458	4,274	6,430	9,066	1,351	3,834	5,720	8,438	1,969	4,313	6,315
環境及び搬送関連事業	864	1,517	2,162	2,947	413	1,056	1,987	2,773	449	1,187	1,787
その他	768	1,886	3,144	4,420	1,140	2,461	3,805	5,007	1,325	2,923	4,578
合計	5,896	15,933	22,309	33,616	5,693	13,854	19,650	35,103	7,320	16,843	23,877

期末受注残高	17年度				18年度				19年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
AP関連事業	6,391	7,178	5,341	6,359	6,784	5,027	4,203	8,808	8,466	8,561	7,548
BP関連事業	2,572	2,018	2,883	2,894	2,575	2,858	3,132	3,439	2,967	3,184	3,464
環境及び搬送関連事業	1,827	1,434	560	387	338	345	675	385	342	219	258
その他	553	776	1,008	490	710	1,058	1,352	820	997	1,194	1,498
合計	11,346	11,408	9,793	10,132	10,409	9,289	9,364	13,454	12,773	13,158	12,769

(単位：百万円)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度 予想
設備投資	292	335	844	815	877	1,261	550	1,889	800
減価償却費	432	389	395	422	487	482	472	508	550
研究開発費	239	256	295	276	227	271	291	211	300

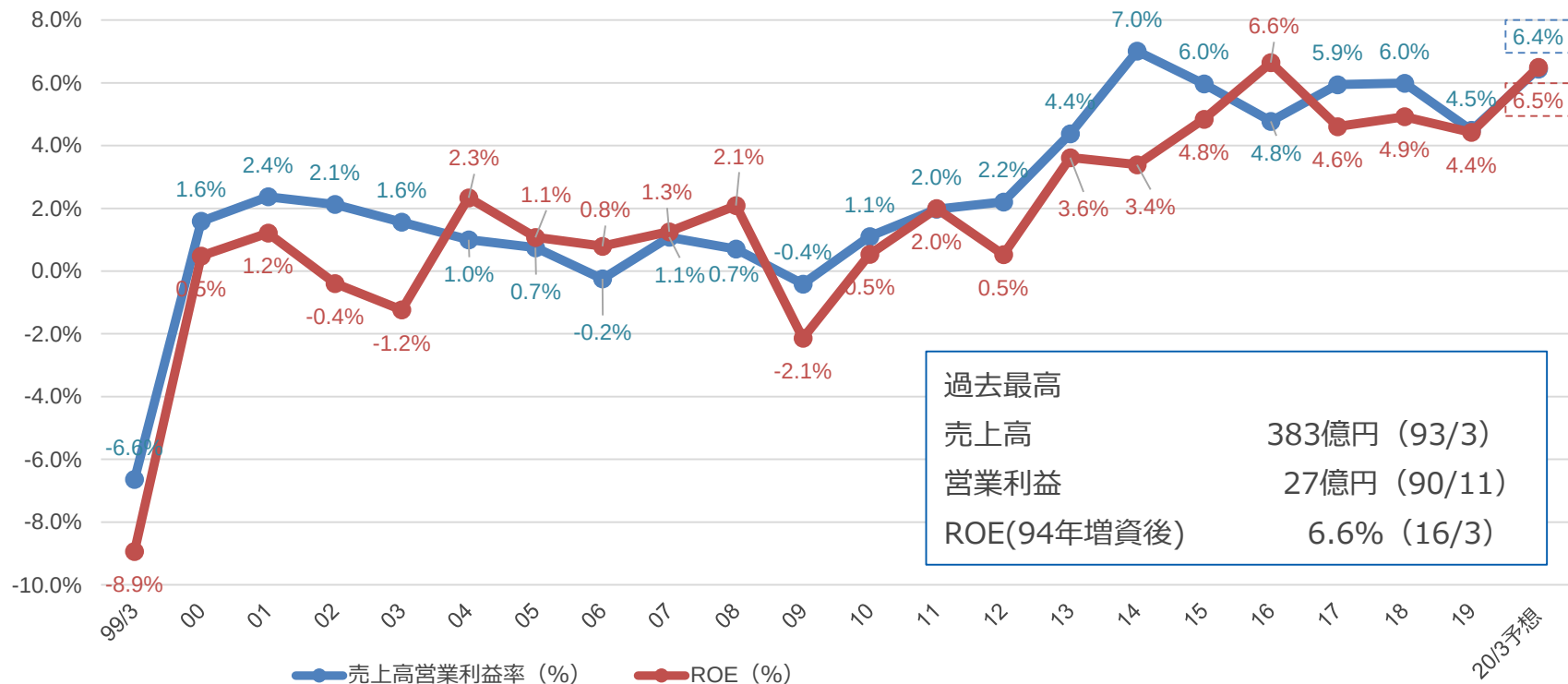
(単位：人、歳、年)

連結従業員数	775	763	767	796	803	797	807	799
従業員平均年齢（単体）	44.2	44.7	43.3	43.1	42.2	42.3	42.2	40.9
平均勤続年数（単体）	21.5	21.2	20	19.3	18.2	18.5	18.3	16.0
女性社員数（単体）	28	31	31	33	39	42	42	45
新卒採用者数（単体）	13	15	21	21	30	17	19	15
新卒女性社員採用数（単体）	1	0	1	3	1	2	0	0
女性社員採用割合（単体）	7.6%	0%	4.7%	14.2%	3.3%	11.7%	0%	0%
外国人採用数（単体）	1	0	6	0	0	0	1	1
外国人従業員数（単体）	2	2	8	6	6	6	7	8
外国人従業員（連結）	92	90	91	95	94	93	101	98
海外従業員数（連結）	92	90	91	95	92	91	101	98

環境負荷軽減新製品

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
新製品名	【砂専用乾燥装置】 【高温予熱バーナ】	【NTB-Ⅱバーナ】	【新型バグフィルタ】	【VPシリーズAP】	—	【フォームドAS製造装置】
環境負荷 軽減項目	・プラント生産効率UP ・省エネルギー	・省エネルギー ・燃焼領域での 燃焼効率UP	・省スペース ・省エネルギー ・排ガス量低減 ・低騒音	・再生材の 臭気ガス拡散防止	—	・中温化合物の製造対応

営業利益率・ROE



(単位：百万円)

	99/3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20/3 予想
売上高	22,294	22,157	22,595	23,170	24,307	24,812	24,864	22,175	25,035	26,942	23,856	23,971	23,803	24,553	27,087	32,073	30,707	34,110	32,717	35,114	31,780	35,700
営業利益 (損失)	▲ 1,480	352	536	492	379	248	185	▲ 55	271	189	▲ 98	265	470	541	1,186	2,249	1,832	1,629	1,944	2,103	1,427	2,300
経常利益	▲ 1,290	201	846	664	688	492	537	350	699	545	482	899	812	621	1,108	1,982	1,582	1,648	1,993	2,239	1,576	2,500
当期純利益 (損失)	▲ 2,151	121	298	▲ 93	▲ 284	567	265	203	315	513	▲ 499	124	461	122	881	888	1,348	1,896	1,340	1,490	1,345	2,000



ミーティングのご希望などございましたら、お気軽に以下宛ご連絡ください

(東京でのミーティングも可能です)

TEL 078-947-3141 IR-nikko@nikko-net.co.jp

日工株式会社 財務本部 八軒（はちけん）宛

-
- 当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。
 - 当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、投資判断を決定する場合には、当資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。
 - また、当資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更する事もありますので、ご了承ください。